

平成21年度事業計画

〔1〕事業の柱

次の事業に積極的に取り組むものとする。

- (1) 指定管理者として、高岡市から委託されて行う受託事業
- (2) 事業団のノウハウで企画し行う自主事業
- (3) 高岡開町400年記念として行う特別事業

〔2〕実施計画

1 文化振興事業（事務局事業）

(1) 開町400年記念高岡市芸術祭

① 邦楽・洋楽によるステージ（仮称）ほか

- ・日 時 平成21年11月8日（日）午後（予定）
- ・会 場 富山県高岡文化ホール

② 茶 会

- ・日 時 平成21年11月3日（火・祝）
- ・会 場 富山県高岡文化ホール／繁久寺／高岡市土蔵造りのまち資料館

③ 高岡市美術作家連盟展

- ・日 時 平成21年11月7日（土）～15日（日）
- ・会 場 高岡市美術館

④ 華道展

- ・日 時 平成21年11月7日（土）・8日（日）
- ・会 場 富山県高岡文化ホール

(2) 文化情報誌出版事業

文化情報誌「きらめき TAKAOKA」に変わる事業団ニュース（仮称）発行に向けて、委員会を立ち上げ、形・内容等の検討を進める。

(3) その他の文化振興事業

① 子供のためのレクチャーコンサート

高岡開町400年記念

「10才のファーストコンサート」

- ・日 時 平成21年6月3日（水）午前・午後2回公演
- ・会 場 高岡市民会館
- ・管弦楽 オーケストラ・アンサンブル金沢
- ・対 象 市内小学4年生約1,500人

② 地域の文化資源活用事業

高岡開町400年記念

「Bossa&Jazz in 勝興寺」

- ・日 時 平成21年6月28日（日）
- ・会 場 重要文化財 雲龍山勝興寺

① モーツァルト・ファンファーレ

- ・日 時 平成 21 年 4 月 29 日(水・祝) 11:00～11:40
- ・会 場 ウイング・ウイング高岡広場公園
[雨天時:高岡市生涯学習センターホール(ウイング・ウイング高岡 4 階)]
- ・出 演 高岡市立野村小学校ウインドアンサンブル

② ランチタイムコンサート～池辺晋一郎と仲間たち～

- ・日 時 平成 21 年 4 月 30 日(木) 12:15～13:00
- ・会 場 高岡市生涯学習センターホール(ウイング・ウイング高岡 4 階)
- ・出 演 池辺 晋一郎(ピアノとお話)、大野 由加(ピアノ)、中沖 いくこ(ピアノ)
オーケストラ・アンサンブル金沢メンバーズ

③ 街なかコンサート

- ・日 時 平成 21 年 5 月 1 日(金) 13:30～/14:30～(2 回公演)
- ・会 場 大和高岡店 1 階アトリウム
- ・出 演 西田 宏美(クラリネット)、松永 彩子(クラリネット)、西野 誠一(ファゴット)

④ プレイベント

第 113 回高岡市民会館サロンコンサート 「モーツァルトとアリアの世界」

- ・日 時 平成 21 年 4 月 5 日(日) 14:00～15:00
- ・会 場 高岡市民会館ロビー
- ・出 演 山本有希子、堀 早苗、門田 宇、門田 里恵(ピアノ)

2 万葉歴史館事業

(1) 展示事業

① 常設展示「ふるさとの万葉」の公開継続

② 企画展示

- ・第 5 回企画展「天平万葉」の公開継続(9 月 4 日まで)
- ・第 6 回企画展「越中国と万葉集」(9 月 10 日から)

高岡開町 400 年記念

③ 春の特別企画展

- ・テーマ 「万葉集のすがた」
- ・会 期 平成 21 年 4 月 22 日(水)～5 月 18 日(月)
- ・会 場 万葉歴史館 回廊

○ 記念講演会

- ・日 時 平成 21 年 4 月 29 日(火・祝)
- ・講 師 小川 靖彦(青山学院大学教授)
- ・演 題 未定

④ 秋の特別企画展

- ・テーマ 「珠玉の館蔵品展」(仮題)
- ・会 期 平成 21 年 10 月 21 日(水)～11 月 16 日(月)
- ・会 場 万葉歴史館 回廊

⑤ 正月特別展示

- ・会 期 平成21年12月16日(水)～平成22年1月18日(月)
- ・会 場 万葉歴史館 回廊
- ・内 容 万葉かるた、越中万葉かるた屏風ほか

(2) 2009高岡万葉セミナー開催事業

① 夏季高岡万葉セミナー (5講座)

- ・テーマ 「歴史のなかの万葉集Ⅰ」
- ・期 日 平成21年8月22日(土)～8月23日(日)
- ・場 所 万葉歴史館 講義室
- ・講 師 第1講 栄原 永遠男 (大阪市立大学大学院教授)
第2講 山崎 福之 (京都府立大学教授)
第3講 遠藤 宏 (成蹊大学名誉教授)
第4講 久保田 淳 (東京大学名誉教授)
第5講 秋山 虔 (東京大学名誉教授)

② 秋季高岡万葉セミナー (2講座)

- ・テーマ 「歴史のなかの万葉集Ⅱ」
- ・期 日 平成21年10月25日(日)
- ・会 場 万葉歴史館 講義室
- ・講 師 第1講 鈴木 淳(人間文化研究機構 国文学研究資料館教授)
第2講 品田 悦一(東京大学大学院准教授)

(3) 学習講座事業

① 「万葉集をよむ」(年11回)

- ・期 日 毎月第1土曜日(5・6・10・1月は第2土曜日、9月は休み)
- ・会 場 万葉歴史館 講義室(以下同じ)
- ・講 師 西澤 一光(新潟経営大学准教授)、万葉歴史館館長及び研究員

② 「大伴家持とともに」(年11回)

- ・期 日 毎月第3金曜日(8月は休み)
- ・講 師 小野 寛(万葉歴史館館長)

③ 「古代を学ぶ」(年7回)

- ・期 日 毎月第4日曜日(11月は第5日曜日、12・3月は第3日曜日、4・6・8・9・10月は休み)
- ・講 師 川崎 晃(前万葉歴史館学芸課長)、万葉歴史館研究員

④ 「小野寛の越中万葉教室」

- ・対 象 小学生(5・6年)、中学生、高校生
- ・場 所 小・中・高等学校
- ・講 師 小野 寛(万葉歴史館館長)

⑤ 第10回越中万葉故地めぐり

- ・期 日 平成21年6月7日(日)
- ・場 所 能登方面
- ・講 師 万葉歴史館研究員

(4) 出版刊行事業

- ① 『高岡市万葉歴史館紀要』第20号
- ② 『高岡市萬葉歴史館叢書』22 (『歴史のなかの万葉集』)
- ③ 『高岡市万葉歴史館論集』13 (『生の万葉集』)

(5) 万葉に関連する文献資料等の収集事業

- ① 万葉関連図書資料収集事業
- ② 万葉関連論文複写製本事業
- ③ 所蔵論文目録のインターネットによる検索サービス

(6) 万葉関連共催事業

- ① 高岡万葉フォーラム
・期 日 平成21年10月2日(金)
・会 場 高岡市生涯学習センターホール
- ② 第29回全国万葉短歌大会(表彰式・記念講演)
・期 日 平成21年10月2日(金)
・会 場 高岡市生涯学習センターホール
・選 者 辺見じゅん、佐佐木幸綱(予定)

高岡開町400年記念

(7) 富山大学の教養・人文学部における講義

- ・前 期 教養「日本文学」15回
- ・後 期 人文学部「日本文学特殊講座」15回

(8) ボランティア説明員(和草)の活動

- ・活動日 土・日・休日及び要請のあった日
- ・活動員 14人
- ・活動時間 1回3時間(午前9時～正午、午後1時～午後4時)

(9) 高岡市万葉歴史館「万葉を愛する会」事業

- ① 目 的 万葉歴史館の活動を支援し、全国の万葉愛好団体等との交流を図り、歴史館の充実・発展に資すること。
- ② 設 立 平成2年10月19日
- ③ 会員数 471人(一般464人:特別7社)
- ④ 事業内容
 - 会員募集及び「万葉の花ごよみ」の配布
 - 「愛する会だより」の発行
第55号(4月20日)、第56号(8月10日)、第57号(1月20日)
 - 愛する会勉強会/会員の集い
I(5月17日)・II(9月6日)
 - 万葉故地めぐりバスツアー(10月17日～10月18日)
 - 愛する会会員の発表会・交流会(2月11日)
 - 万葉まつり(朗唱の会・万葉故地交流会)等への参加 10月2日～10月4日
 - 万葉故地と万葉関連事業の記録ビデオの制作

3 美術館事業

(1) 企画展示事業

① 第15回 高岡市民美術展

- ・内 容 高岡市で美術活動を行う人たちから広く作品を公募し、審査による入選・入賞作品および招待作品を一堂に展示する。

部門一絵画Ⅰ（日本画）、絵画Ⅱ（洋画）、彫刻、工芸、書、写真の6部門

- ・会 期 平成21年4月18日(土)～5月5日(火・祝)(18日間 会期中無休)

- ・主 催 第15回高岡市民美術展実行委員会

② 第48回 日本伝統工芸富山展

- ・内 容 日本工芸会富山支部会員と公募による金工、漆芸、その他の工芸など7部門の工芸作品および全国の重要無形文化財保持者、日本工芸会会員の賛助出品作品を展示。

- ・会 期 平成21年5月15日(金)～5月31日(日)(15日間)

③ 文化勲章38人が描く「日本の心」～大観・松園から現代まで～

高岡開町400年記念

- ・内 容 文化勲章を受章した38人の日本画家の代表作約70点を展示。描かれた時代や風俗を示す作品、四季や自然などの普遍的な事象に取材したものなど、日本画の優品を紹介する。

- ・会 期 平成21年6月18日(木)～7月20日(月・祝)(29日間)

④ 高岡開町400年・開館15周年記念 高岡美術百科 ～先人たちの近代～

- ・内 容 明治から昭和戦後期までの近代高岡に生じた美術史・工芸史上の諸動向を先人たちが織り成す人物誌のかたちでたどる。展示・図録・普及事業を通じ、大都市圏を中心として記述されがちな美術史・工芸史とは異なった展開を強調し、郷土文化の豊かな特質を内外に示す自主企画展。

- ・会 期 平成21年7月31日(金)～9月13日(日)(39日間)

⑤ 高岡開町400年・開館15周年記念 高岡の名宝展

- ・内 容 高岡城を築いた加賀藩二代藩主・前田利長をはじめ、瑞龍寺や勝興寺など近世高岡の寺院文化に深いゆかりをもつ三代・前田利常、およびその前後の加賀藩の文化や高岡に関連する美術品を、約80点紹介する自主企画展。

- ・会 期 平成21年9月25日(金)～10月25日(日)(27日間)

⑥ 開町400年記念高岡市芸術祭

高岡市美術作家連盟展 創立60周年記念展

- ・内 容 高岡市を中心に活動する美術作家の団体展。日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門にわたり、会員の作品を展示する。

- ・会 期 平成21年11月7日(土)～11月15日(日)(8日間)

⑦ 第5回 ジュニア☆アートワールド☆高岡 ～つくる・みる・つどう～

- ・内 容 高岡市内の小・中学校と美術館とのコラボレーション作品や、中学生と教員がともに開催する拾美会(しゅうびかい)展、高岡市小学校連合展の作品を展示する。あわせて当館の収蔵品を子ども向けに紹介する展示コーナーを設ける。

- ・会 期 平成21年12月1日(火)～平成22年1月11日(月・祝)(31日間)

⑧ 堀田善衛展 スタジオジブリが描く乱世。

- ・内 容 高岡市出身の芥川賞作家 堀田善衛(1918-1998)の業績を、「乱世」をキー

ワードに、文学関係資料や堀田が論評した美術作品によって紹介する。あわせて日本を代表するアニメーション作家の宮崎駿を中心とするスタジオジブリが、堀田作品に寄せて制作したアニメーション原画等を展示して幅広い世代にアピールする。平成20年秋に県立神奈川近代文学館で開催された展覧会を再構成し、堀田善衛ゆかりの美術作品も展示する。

- ・会 期 平成22年1月23日(土)～2月28日(日)(32日間)
- ・主 催 堀田善衛 高岡展実行委員会

⑨ 富山大学芸術文化学部第1回卒業制作展(仮称)

- ・内 容 平成17年10月、国立高岡短期大学は四年制に移行し、富山大学芸術文化学部となった。本展は移行後初の卒業制作展である。実行委員会形式での開催を検討し、講演会、音楽会、ワークショップなどの付帯事業を通じ、市民と教員・学生との交流の機会を広げる試みを支援する。
- ・会 期 平成22年3月9日(火)～3月24日(水)(15日間)

(2) 常設展示事業

- ・内 容 金工、漆芸の名品を中心に、ものづくり・デザイン科に対応した展示を行う他、近年当館に収蔵した作品や資料を展示紹介する。

① ものづくりタイムトラベラー高岡の金工・漆芸

- ・内 容 ものづくり・デザイン科に対応した郷土の工芸作品の展示を行う。
- ・会 期 平成21年3月28日(土)～7月3日(金)(86日間)

② アクションと動き(ムーブマン)のある絵画ー拡散する画面

- ・内 容 平成19年度新収蔵の篠原有司男「ボクシング・ペインティング」(2007)ほか当館の現代作品のコレクションから、画面を超えて無限の広がりを感じさせる絵画・版画・立体に着目する。これらの作品はその成立・意義もまた、従来の絵画の枠を超えた広がりを持っている。
- ・会 期 平成21年7月11日(土)～11月8日(日)(104日間)

③ 美術館の笑い

- ・内 容 「笑い」は人間のもっとも根源的な感情の一つであり、もともと造形作品とは人を楽しませるために存在するものでもあった。当館収蔵品の絵画、彫刻、工芸など、約40点を通じて様々な「笑い」を提供し、幅広い世代に美術鑑賞に親しんでいただく機会とする。
- ・会 期 平成21年11月17日(火)～平成22年3月14日(日)(96日間)

(3) 資料収集保存事業

- ・収集美術品に対する調査、交渉
- ・収蔵作品の保全、修復
- ・美術図書の充実

(4) 教育普及事業

- ・開催展覧会の鑑賞をより深めるための事業
 - ◆来館者の実状にあわせ、様々な年齢層・条件に応じたきめ細かいプログラムの企画。
対象区分の例：未就学児童、小・中学校児童・生徒、ティーンエイジャー、学生、成人、シニア世代などの年齢によるもの

- 特別支援を必要とする人々等の条件
- 専門家と一般愛好者、始めて美術に接する人々等の条件
- ◆様々な媒体の、それぞれの利点を考慮し、変化に富んだプログラムを企画
 - 媒体例：話言葉による言語情報→ギャラリー・トーク、講演会
 - 文字情報→セルフガイド、ワークシート
 - 映像・音楽・舞踊・文学等他の領域の芸術の活用
- ・視覚芸術と美術館の魅力、存在意義を広く知らせる事業
 - ◆来館者、さらに潜在的な利用者を対象とするアウトリーチ活動によって、広く美術の振興に寄与する。
- ・研究・調査の公開
 - ◆紀要、年報、館報など刊行物の発刊
- ・告知・広報活動の充実
 - ◆印刷物(チラシ・ポスター、スケジュールパンフレットの制作、配布)
 - ◆マス・メディアとの連携
 - ◆ホームページの充実
- ・外郭団体(美術館友の会、名作保存会)の活動の支援、推進

(5) 調査研究事業

- ・高岡開町400年(2009年)記念展に向けての取組み
- ・収蔵品に関する調査、研究
- ・郷土作家の経歴調査
- ・企画展、次期企画展に関する調査、研究
- ・金属工芸、金属造形に関する資料の収集、調査
- ・美術館運営に関する調査

4 博物館事業

(1) 展示事業

常設展「高岡ものがたり」ー楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアムー 高岡開町400年記念

- ・会期 平成21年4月1日(水)～平成22年3月31日(水)307日間〔通年〕
- ・内容 本展は平成19年7月21日にリニューアルし、市民をはじめとした観光客などの来館者に対して、高岡市の歴史・民俗・伝統産業などをわかりやすく紹介している。本年度は開町400年を迎えることから、「利長塾」等で活用するなど、更なる充実を目指して開催する。

② 収蔵品展「新資料展」

高岡開町400年記念

- ・会期 平成21年4月1日(水)～5月10日(日)35日間
- ・内容 当館では、歴史資料をはじめとする多種多様な資料を有する。収蔵品展は、年々増加する収蔵資料の調査成果を市民に対し公開するものである。本展では、近年新たに収蔵した高岡開市三百年記念絵葉書などの資料や、未公開の資料を中心に展示・紹介する(前年度2月7日よりの継続事業)。

③ 特別展「地図にみる高岡古城公園の400年」

高岡開町400年記念

- ・会期 平成21年8月1日(土)～10月18日(日)68日間
- ・内容 高岡古城公園は、慶長14年(1609)に前田利長が築城した高岡城にその起源をもつ。高岡城は6年後の元和元年(1615)の「一国一城の令」により廃城となってしまうが、前田利常の深謀遠慮により、広大な水濠と曲輪(土塁)は保存され、米や塩などの蔵として活用された。また、明治初期には

民間に払い下げられ、破壊の危機を迎えるが、服部嘉十郎らの尽力により、公園として指定され、現在でも市民に親しまれている。本展では、高岡古城公園の波乱に満ちた400年にわたる歴史を、地図(絵図)を中心に、写真資料などもあわせて展示・紹介する。

④ 館蔵品展「(タイトル未定)」

- ・会 期 平成22年2月6日(土)～3月31日(水) 46日間
- ・内 容 当館では、歴史資料をはじめとする多種多様な資料を有する。館蔵品展は年々増加する収蔵資料の調査成果を市民に対し公開するものである。本展では、近年新たに収蔵した資料や、未公開の資料を中心に展示・紹介する。

(2) 教育普及事業

- ① 特別展にともなう特別講演会 1回
- ② 高岡開町400年記念「郷土学習講座」 高岡城に関する講座 3～4回
- ③ 展示説明会
 - ・特別展において、会期中に2回程度実施。また常設展でも要望に応じ実施。
- ④ 高岡の歴史や伝統産業等に関するビデオ・DVDの放映
- ⑤ 刊行物出版
 - ・特別展の解説目録
 - ・館報誌「博物館だより」16号(2010)
 - ・年報(平成20年度)
- ⑥ ホームページによる広報普及活動
- ⑦ 博物館実習
 - ・平成21年7月下旬から8月中旬の7日間実施
- ⑧ 学校等の各団体の活動への支援及び協力
- ⑨ 他団体の各展示会にかかる指導・協力
- ⑩ 各種レファレンス(照会回答)サービス
- ⑪ ワークショップ等の開催 高岡開町400年記念
 - ・「切り紙でまぼろしの高岡城をつくろう！」(平成21年4月29日)
 - ・高岡歴史探検隊!「きみも1日学芸員になってみよう」(平成21年7月下旬)
 - ・宵闇にきく高岡の怪談!一怪異譚のフォークロア(平成21年8月8日)
- ⑫ 呈茶の会の開催 高岡開町400年記念
 - ・「松聲庵」一掛待合で抹茶を楽しみませんか(平成21年4月11日/11月7日)

(3) 資料収集保存活動

- ① 資料の収集
 - 郷土高岡の歴史・民俗・産業等に関する資料の収集
- ② 収蔵資料の修繕
 - 状態の悪い資料の修復(裏打・軸装など)及び収納箱・中性紙封筒での保管

(4) 調査研究活動

- ① 平成21～22年度 実施予定の展示関連の調査
- ② 収蔵資料及び未調査資料の整理・登録等、基礎的作業の促進
- ③ 「高岡市立博物館整備構想検討委員会」に関する調査研究
- ④ その他調査研究

5 高岡市民会館事業

- (1) オーケストラ・アンサンブル金沢高岡定期公演 高岡開町 400 年記念
「オーケストラ・アンサンブル金沢 with 渡辺真知子」
・日 時 平成 21 年 6 月 7 日(日) 午後 3 時開演
・会 場 高岡市民会館
・出 演 渡辺真知子(歌)、オーケストラ・アンサンブル金沢 (管弦楽)
- (2) 中国・錦州市音楽芸術団高岡公演 高岡開町 400 年記念
・日 時 平成 21 年 8 月 22 日(土)
・会 場 高岡市民会館
- (3) 古城の森に響く新しい音楽会 高岡開町 400 年記念
- ① 本公演 小馬崎達也&ソフィアカルテットコンサート
・日 程 平成 21 年 9 月 20 日(日)
・会 場 高岡市民会館
・出 演 小馬崎達也(ギター) ソフィアカルテット(弦楽四重奏)
- ② プレイベント 久乗編鐘コンサート
・日 程 平成 21 年 9 月 19 日(土)
・会 場 高岡市民会館ロビー
・出 演 小馬崎達也(久乗編鐘)
- ③ 関連イベント カルテット・ゼーレ弦楽四重奏レクチャーコンサート
・日 程 平成 21 年 8 月 1 日(土)
・会 場 高岡市民会館ロビー
・出 演 カルテット・ゼーレ
- (4) 平成 21 年度ホール活性化事業
- ① サロンコンサート&ミニギャラリーの開催
・会 場 高岡市民会館ロビー
- ② コンサートピアノ演奏体験(年 4 回)
・会 場 高岡市民会館
- ③ 板の上のライブ—season I
・出 演 古川初穂ピアノトリオ、SP-D
・会 場 高岡市民会館 特設ステージ
- ④ クラシック for KIDS
・出 演 高岡市在住のクラシックアーティスト
・会 場 高岡市民会館 特設ステージ

6 青年の家事業

- (1) 青年文化教室の開設
若者達に、伝統文化やレクリエーション等の活動の機会を与え、余暇の充実と教養の向上を図る。

・煎茶、茶道、着付け(2)、生け花(4)、剣詩舞道、ペン習字 5月～8月

(2) 現代教養講座

若者の現代的なニーズに応じた知識・技能の習得を目指す。

- ・英会話講座 9月～10月 8回
- ・中国語講座 9月～10月 8回

(3) 若者交流支援事業

若者達の仲間づくりを促進する為、スポーツ・レクリエーション等の教室を開設する。また、高岡市青年機構と連携しリーダー研修会を行い、青年リーダーの育成を図る。

- ・ゴルフ教室 6月～7月 8回
- ・ボウリング教室 11月～12月 8回
- ・リーダー研修会 4回

(4) 第10回青年の家文化祭

当館を通年利用して、仲間づくりや技能の向上・発展を図る為に多種・多様のサークル活動が活発に行われている。1年の集大成として、発表の機会を設けて実施している。

- ・期 日 平成21年11月8日(日)
- ・会 場 高岡市青年の家
- ・対象サークル 青年の家利用サークル 50団体

7 ミュゼふくおかカメラ館事業

(1) 企画展示事業

- ① ミュゼふくおかカメラ館開館10周年事業 高岡開町400年記念
吉村和敏写真展 PASTORALE
・内 容 自然写真家 吉村和敏氏の写真展。カナダやヨーロッパ各地など世界各地の美しい自然・景観を撮影した作品約100点を展示。
・会 期 平成21年4月4日(土)～6月7日(日)(55日間)
- ② ミュゼふくおかカメラ館開館10周年事業 高岡開町400年記念
菊池哲男写真展 山の星月夜
・内 容 山岳写真家 菊池哲男氏の作品による写真展。北アルプスを中心とした山々の情景を撮影した作品約100点を展示。
・会 期 平成21年6月13日(土)～7月26日(日)(38日間)
- ③ ミュゼふくおかカメラ館開館10周年事業 高岡開町400年記念
白川義員写真展 世界百名瀑
・内 容 山岳写真で有名な白川義員氏による写真展。世界各地の名瀑をとらえた大型作品130点を展示。
・会 期 平成21年8月1日(土)～10月12日(月・祝)(63日間)
- ④ 第9回岩合光昭賞ネイチャー フォトコンテスト写真展 高岡開町400年記念
・内 容 動物写真家 岩合光昭が審査するフォトコンテストを開催するとともに、同コンテストに入選した作品を展示する写真展。
・会 期 平成21年10月17日(土)～11月15日(日)(25日間)

- ⑤ 安念余志子写真展 となみ野古寺愛歌 高岡開町400年記念
・内 容 郷土出身の写真家、安念余志子氏の作品による写真展。四季折々の寺院風景を中心とした作品を展示。
・会 期 平成21年11月21日(土)～12月23日(水・祝) (28日間)

- ⑥ 第5回高岡市写真愛好家作品展
・内 容 市内で活動している写真愛好者による参加型写真展。参加応募された全作品を展示する予定。
・会 期 平成21年12月26日(土)～平成22年1月19日(火) (15日間)

- ⑦ 第9回ジュニアフォトコンテスト
・内 容 県内外の小・中・高校生を対象とした写真公募展。応募された全作品を展示する予定。
・会 期 平成22年1月23日(土)～2月21日(日) (25日間)

- ⑧ 第56回ニッコールフォトコンテスト写真展
・内 容 ニッコールクラブが毎年開催している全国公募の写真コンテスト。約4万点の中から選ばれた入賞作品約270点を展示する。
・会 期 平成22年2月27日(土)～3月28日(日) (26日間)

(2) 常設展

- ・内 容 クラシックカメラを展示し、その機構の発展や経緯・歴史を振り返るとともに、近年当館に収蔵した作品や資料を展示紹介する。

① 蛇腹革命～合言葉はレトロトレ～

- ・内 容 クラシックカメラの小型化と発達に大きく寄与した「蛇腹」に焦点をあて、その機構や発展の歴史を紹介する。
・会 期 平成21年4月4日(水)～6月7日(日) (55日間)

② カメラ故郷に帰る (竹内ひさや写真同時展示)

- ・内 容 クラシックカメラの展示とともに、同カメラにて撮影された写真を展示し、そのレンズ性能や写り具合を紹介する。
・会 期 平成21年6月13日(土)～7月26日(日) (38日間)

③ 不思議な道具「カメラ Camera」

- ・内 容 人の歴史のなかで劇的な発展を遂げたカメラの持つ不思議な魅力とは何なのか、道具としての進化の歴史を紹介しながら検証する。
・会 期 平成21年8月1日(土)～11月15日(日) (88日間)

④ おしゃれと粋と遊びは写真機

- ・内 容 かつて「写真機」と呼ばれたカメラに込められた哲学や粋を、往年の名機と時代背景に触れながら紹介する。
・会 期 平成21年11月21日(土)～平成22年3月28日(日) (94日間)

(3) 資料収集保存事業

- ・収集品に対する調査、交渉
・収蔵作品の保全、修復
・写真図書の充実

(4) 教育普及事業

- ・講演会などの開催・・・ 各写真展に際し、ギャラリートーク及びトークショーを開催し、写真とカメラ館事業の普及を図る。
- ・ワークショップ・・・ ピンホール教室や現像教室を適宜開催し、映像文化の普及を図る。
- ・ホームページによる展覧会情報や関連事業情報の発信

(5) 調査研究事業

- ・収蔵品に関する調査、研究
- ・企画展、次期企画展に関する調査、研究
- ・特定のテーマに基づく中長期的・継続的な研究課題の設定、研究
- ・郷土作家の略歴調査
- ・美術館運営に関する調査、研究
- ・報告書の作成

8 高岡古城公園動物園事業

(1) 展示事業

① 飼育動物

- ・哺乳類 18種68点 (アメリカンミニチュアホース、チンパンジー、ニホンザル等)
- ・鳥類 29種103点 (ペンギン、フラミンゴ、クジャク、エミュウ、オウム等)
- ・爬虫類 1種1点 (ワニガメ)
- ・魚類 3種 (モツゴ、ギンブナ等)

② 自然資料館

- ・剥製等 844点

(2) 動物園まつり

- ・内 容 動物愛護週間(9月20日～26日)の期間の日に、動物愛護の啓発普及をはかる目的で動物ふれあいコーナー、クイズ等イベントをし、また併せて動物慰霊祭を実施する。
- ・日 時 平成21年9月23日(水・祝) 午前10時～午後4時
- ・主 催 高岡市、高岡古城公園を愛する会、高岡志貴野ライオンズクラブ

(3) 特別展

- ・内 容 動物園内自然資料館で、動物等に関するテーマを設定し、パネル等を使用し小学生でもわかるようにやさしく動物の解説をする。
- ・期 日 平成21年8月1日(土)～9月23日(水)

(4) どうぶつ園だより発行

- ・内 容 動物園だよりを作成し市内の小学校・幼稚園・保育園に配布する。
- ・年2回 (9月・3月)
- ・規 格 A3版
- ・部 数 1000部(全クラス分)

(5) 動物愛護に関する標語の募集

- ・内 容 動物愛護の啓発普及をはかる目的で、入園者を対象に動物愛護に関する標語を募集し、コンクールを行う。
- ・日 時 平成21年7月1日(水)～7月31日(金)
- ・主 催 社団法人日本動物園水族館協会